

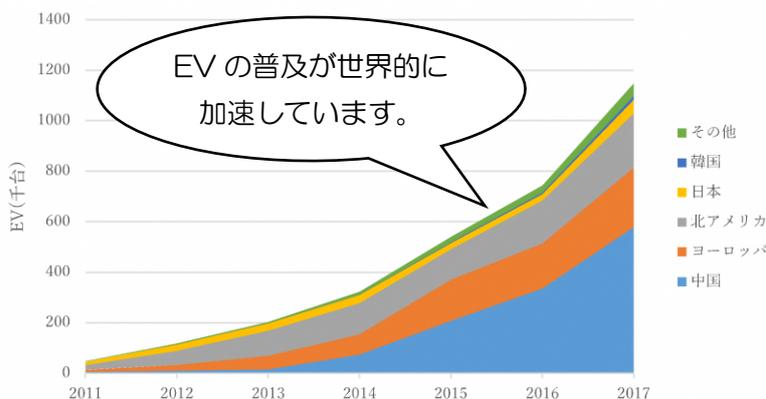
# 中古電気自動車（EV）の購入を検討されている方へ 快適な EV Life のための、中古 EV 購入時の留意事項

## 記 載 内 容

電気自動車の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1 購入前の確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・p2～p3  
中古 EV 購入にあたって留意すべき事項・快適な EV Life をすごしましょう・・・・・・・・・・・・・・・・・・p4

電気自動車（EV）の普及が世界的に進んでおり、今後、中古車市場にも EV が増えてきます。中古 EV はガソリン車と変わらない価格で購入できるようになってきていることから、皆さんが購入する機会も増えることが想定されます。一方で、中古 EV にはバッテリーの劣化による航続距離の減少など、ガソリン車にはない問題が発生する可能性があります。

このポイント集は、中古 EV 購入にあたって留意すべき事項を事前に皆さんに認識していただくためのものです。購入後に「**こんなはずではなかった**」と後悔しないように、最低限知っておくべきポイントを確認しましょう。

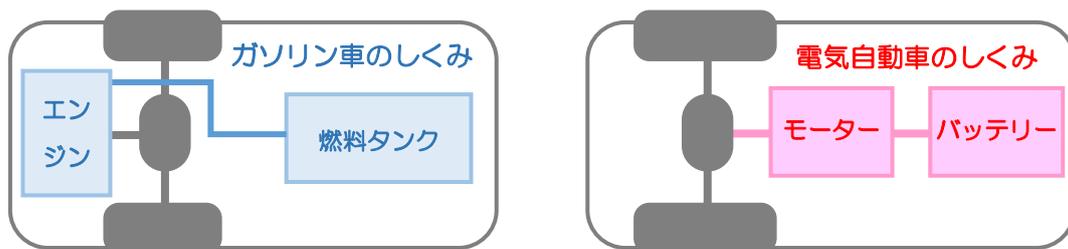


世界のEV販売台数の推移

出典：自然エネルギー財団「EV普及の動向と展望」

## 電気自動車の特徴

ガソリン車はガソリンをエンジンで燃焼させて駆動しますが、EVはモーターに電気を流して駆動させます。モーターは、エンジンに比べてエネルギーを無駄なく利用できるため、環境にやさしく、経済的です。



EVは、ガソリン車と比べた時に次のメリットとデメリットがあります。

- メリット
- ・維持費が安い
  - ・環境にやさしい
  - ・災害に強い
  - ・家庭で充電ができる
  - ・快適な乗り心地（走行音・振動が少ない）

- デメリット
- ・航続距離が短い
  - ・価格が高い
  - ・充電に時間がかかる
  - ・ガソリンスタンドに比べると、充電施設の数が少ない

ガソリン車と比べた時の特性

今後、普及が進めばこれらのデメリットは徐々に改善されていくと考えられます。

## 購入前の確認事項

中古 EV を購入する際は、販売店に相談するなどして、最低限、次の事項を確認しましょう。

### 1. 保証内容を確認しましょう。

- ✓ EVに限らず、中古車の保証内容は販売店によって異なります。メーカー・ディーラー系の販売店、その他の販売店により様々な内容が設定されており、車両の状態によっても適用できる保証が異なるため、販売店によく確認しましょう。
- ✓ 中古 EV の保証には、駆動用バッテリーの保証とその他の部品の保証があります。駆動用バッテリーは EV の心臓部ですので、保証条件や保証期間を詳細に確認するようにしましょう。

中古 EV に適用できる保証

保証者	保証	適用可否	備考
メーカー・ディーラー保証	駆動用バッテリーの保証	適用できる可能性はある	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保証内容は車両毎に異なる。</li> <li>• 以下の内容がある。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保証継承<sup>※1</sup>により適用できる駆動用バッテリー保証</li> <li>• 認定中古車<sup>※2</sup>の保証に付属する駆動用バッテリー保証</li> <li>• 有償により適用できる駆動用バッテリー保証</li> <li>• 有償により適用できる駆動用バッテリー延長保証<sup>※3</sup></li> </ul> </li> </ul>
	その他の部品の保証（ガソリン車等にも使用される部品）	適用できる可能性はある	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各メーカーが設定する中古車の保証。</li> <li>• 車両の状態や追加費用等によって保証内容が異なる場合がある。</li> <li>• 状態が良い車両は「認定中古車」として認定され、広い範囲の保証が適用できる。</li> </ul>
メーカー系以外の販売店保証	駆動用バッテリーの保証・その他の部品の保証	適用できない可能性が高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保証可否は販売店による。</li> <li>• 駆動用バッテリーについて、メーカー系以外の保証が適用される可能性は今のところほぼ無い。</li> </ul>

※1 保証継承：購入する中古車が、メーカーの定める新車保証期間に該当する場合、新車の保証を継承できる保証サービス

※2 認定中古車：メーカーが独自に定めた厳しい基準をクリアした中古車

※3 延長保証：保証適用期間を延長できる保証サービス

- ✓ メーカー等の規定事項が守られていない車両は、保証を受けられなかったり、失効したりする場合があります。購入予定の車両が規定を満たすか、事前に確認しましょう。

#### 駆動用バッテリーの保証に係る順守事項の例（i-MiEV）

##### 保証を受けるために守るべき事項

1. 取扱説明書に示す正しい取扱いおよび手入れの実施
2. 法令で定められた日常点検、定期点検整備の実施
3. 三菱自動車が指定する点検整備と定期交換部品、及び油脂類の指定どおりの交換
4. 定期点検整備の実施が証明できるメンテナンスノートの携行

##### 保証が失効するケース

1. 駆動用バッテリーを、販売会社のサービス工場または三菱自動車が認めたサービス工場以外で組立・修理・分解・改造を行った場合
2. 自動車が日本国外へ持ち出された場合

### 2. 販売店による修理・メンテナンスの可否を確認しましょう。

- ✓ 車検や EV 専用の機材を必要としない故障であれば一般的な整備工場での点検・整備が可能です。しかし、モーターや電池の故障など、専用機材がないと整備出来ない故障が生じた場合は、専門の整備工場でなければ対応してもらえません。有事の際に対応してもらええる整備工場を確認しておきましょう。

## 購入前の確認事項

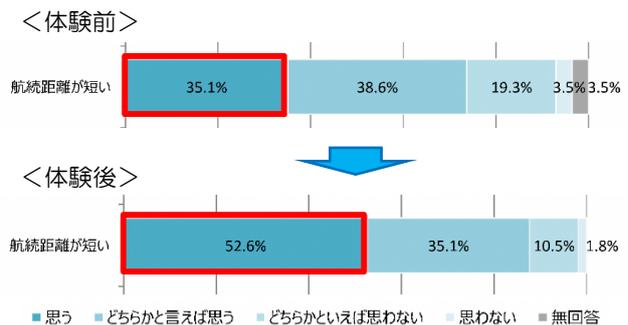
### 3. バッテリーの劣化具合を確認しましょう。

- ✓ 一般的に、EVはガソリン車に比べて航続距離が短い傾向にあります。自らの走行の仕方や充電環境とのマッチングを販売店とよく相談してから購入しましょう。
- ✓ 携帯電話のバッテリーと同様に、EVのバッテリーも充電を繰り返すと劣化して充電できる電力量が減少します。ガソリン車であれば、中古車であっても航続距離が新車時とさほど変わりませんが、EVは充電できる電力量の減少に比例して航続距離も減少します。
- ✓ 宮古島市が実施したEV利用体験では、体験後に「航続距離が短い」と思う人の割合が1.5倍に増えました。このことから、航続距離は購入後に特にギャップを感じやすい項目と言えます。購入前にはバッテリーの劣化具合と航続距離を十分に確認しましょう。

新車時は目盛り上端まで充電可能だが、  
電池の劣化により充電できる電力量が減少



リーフ（24kWh）のバッテリー残量計の目盛り



2週間のEV利用体験前後のイメージ調査結果  
(被験者人：57人、調査期間：H29年8月からH30年1月)

### 4. 充電場所を確認しましょう。

- ✓ EVの充電には専用の充電器が必要です。あらかじめ自宅や職場の駐車場や、普段の走行ルート付近での充電環境を確認しておきましょう。

主な設置場所	家庭・マンションなど		<参考>公共施設など
充電設備の種類	普通充電器		急速充電器
	コンセントタイプ	ケーブル付きタイプ	
定格電圧	AC100V/AC200V	AC200V	三相 200V
充電時間 ※リーフ（24kWh）を想定	～20時間程度	～8時間	20分～1時間
価格（工事費は含まない）	数千円	数万円～数十万円	百万円以上
イメージ	 パナソニック 屋外用コンセント	 豊田自動織機 EVC2	 ハセテック 高機能充電器

- ✓ 宮古島市では、急な電欠に備えて島内各所に充電器が設置されています。市のホームページ等であらかじめ緊急時の充電場所や使用方法を確認しておきましょう。（有料の場合があります）

（宮古島市充電設備マップ：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/ecoisland/files/judenh3006.pdf>）

### 5. 充電時間を確認しましょう。

- ✓ ご家庭で充電する場合、EVの充電は一般的に、AC200Vの充電器では満充電に約8時間、AC100Vの充電器では約20時間がかかります。ご自身の生活スタイルを確認し、生活への負担が少ない充電のタイミングをあらかじめ想定しておきましょう。

## 中古 EV 購入にあたって留意すべき事項

**注意！** トラブルのリスクを減らすために、販売店に相談しましょう。

インターネットオークション等を介して個人で直接中古 EV を購入するとトラブルが発生するケースがあります。購入した翌日に故障するケースも珍しくありません。このようなトラブルのリスクを減らすためにも販売店によく相談するようにしましょう。

**注意！** バッテリーは充電の仕方によって劣化具合が異なります。

バッテリーの劣化具合は充電の仕方によって異なります。一般的には急速充電を多用したり、満充電または空の状態でも長期間放置したり、充電頻度が極端に多い場合に劣化が早まると言われています。購入後はバッテリーが劣化しにくい充電を心掛けましょう。また、定期的な点検・メンテナンスによって電池の状態を把握しましょう。

**注意！** 有償でバッテリー交換を行う場合、30万円～100万円程度の費用がかかります。

近年、使用済みバッテリーの再製品化等により安価なバッテリーが登場してきています。しかし、それでも有償でのバッテリー交換を行う際には、30万～100万円程度の費用がかかります。中古 EV は新車に比べてバッテリー劣化のリスクが高いことから、有償での交換が必要な場合には費用が掛かることを理解しておきましょう。

## 快適な EV Life を過ごしましょう

ここまで示したように、中古 EV は中古のガソリン車と違った特性を持っています。購入時には、これらの特性を十分に理解しておきましょう。

また、ご自身に適した車両を購入するためには、車体の状態はもちろんですが、ご自身の生活スタイルとマッチしていることを確認することが大切です。周辺の充電環境やご自身の走行パターンなどを改めて確認し、購入する車両が生活スタイル適合していることを確認しましょう。

